



職場選び3つのポイント!



法人・施設紹介

当施設は純和風、木の温もりを感じる落ち着いた雰囲気の瓦造り2階建の施設です。在宅復帰の強化型施設として、「ご利用者が自宅で生活できるように」を目標に、個々の利用者に向けたケアサービスを各職種が連携し提供しています。



職場コミュニケーション

職場の人間関係を良くするために

利用者のケアカンファレンスが基本

毎朝のカンファレンスでは、看護・介護・リハビリ・栄養・ケアマネなどの職員が利用者のケアについて話し合い、より良いサービスを提供しております。

Staff Voice!

スタッフの声

職員全員がより良いサービスを提供できるよう、知識・技術の向上を目指して積極的に学習しています。

キャリアアップ

新人職員へのサポート

相談しやすいように年齢の近い職員がサポート

年齢の近い先輩職員が、マンツーマンで優しく指導します。不明な点をそのつど確認することができ、仕事の理解も深まります。困ったことがあれば相談しやすく、安心して働くことが出来ます。

中堅・ベテランスタッフへのサポート

個別定期面接で働き方など改善取り組み

職員のレベルに合わせた外部研修への参加を積極的に行っています。また、定期的に面接を行い、今後のキャリアアップや職場環境、働き方の改善について話をする機会を設けています。

資格取得支援

実務者研修、介護福祉士資格取得制度が充実

介護福祉士の養成学校に通う方には「介護福祉士奨学金制度」、働きながら資格取得を目指す方には「実務者研修資格取得支援金制度」と二種類の制度が用意されています。

ライフスタイル

結婚・出産・妊娠・育児のサポート

産休・育休の取得率は100%

産休・育休の取得率は100%で、安心して子育てができる環境が整っています。現在も育児休業を取得し、育児に専念している職員が在籍する等、子育て世代に働きやすい職場環境です。結婚祝金、出産祝金もあります。

給与面で工夫している点

夜勤手当 1回8,000円

手当が充実! 処遇改善手当は総額30,000円程度(月変動あり)、介護福祉士では特定処遇改善手当は20,000円夜勤手当は1回8,000円。その他、職務手当・皆勤手当・住宅手当・家族手当などがあります。

休日面で工夫している点

年間休日124日

年間休日は124日です。有給休暇は入社3ヶ月後から10日間付与しています(入職月により変動あり)。プライベートの充実度を高めるため希望休を取り入れています。しっかりリフレッシュし、仕事に取り組みます。

医療法人社団 白美会 介護老人保健施設 槇の里

最新の求人情報



- 募集職種** ▶ ①介護職員(正職員) ②看護職員(正職員)
- 給与** ▶ ①228,000円~295,000円(処遇改善手当・夜勤手当含む) ②221,000円~329,100円(夜勤手当など含む)
- 仕事内容** ▶ ①入居者への食事、排泄、入浴介助など生活全般の介助 ②入所者の健康管理、投薬、看護業務及び食事介助など
- 資格** ▶ ①不問 ②看護師又は准看護師免許
- 勤務時間** ▶ (1)7:30~16:30 (2)8:30~17:30 (3)10:00~19:00 (4)17:00~9:00 ②(1)8:30~17:30 (2)17:00~9:00
- 休日** ▶ 年間休日124日 シフト制
- 待遇・福利厚生** ▶ 社保完備、退職金制度あり、賞与年2回、住宅手当、家族手当、職務手当、皆勤手当、夜勤手当、通勤手当、年に一度昇給あり

問い合わせ

※電話の際に「コマチの介護フリーマガジンを見た」とお知らせください。

求人問い合わせ電話番号 (担当:早野)

0256-72-0331

介護老人保健施設 槇の里
新潟市西蒲区巻甲4363番地
<https://www.jojinkai.com/maki/>



医療法人社団 白美会 介護老人保健施設 槇の里

介護ブローガーのCHECK!

介護ブローガー



新潟医療福祉カレッジ 介護福祉科 専任教員 板垣 大介さん



介護福祉科1年 津田 千尋さん



志田 来瞳さん

人材育成で大事にしていることは「その人を知る、受け入れること」だそうです。知ることに、本人にあった関わり方ができ、双方にとってコミュニケーションが取りやすくなるのだと思います。そうすることで不安を言える環境ができ、疑問や不安をすぐ解消することで人材育成が促進されるのだと言えますね。資格取得支援制度や研修制度等も充実しており、キャリアアップも支援してもらえ、うちのグループ校の卒業生も頼もしく働いて嬉しかったです。

1 高卒でも中途採用でも安心の人材育成



2 在宅復帰を目指すチームケア

一人ひとりに合ったケアプランを考え、さらに自宅に帰ってもできるようなケアプランの実践もしており、在宅復帰を見通しています。そのためにはリハビリ職だけでなく、介護職、看護職などいろいろな職種が関わり、チームとして取り組んでいます。話し合う場も多く、話し合った結果を目標につきやすいテーブルの中心におくなど見える化して情報共有しています。また取材当日も笑顔で仕事しており、お互いに協力的に動いているなど職場の雰囲気が印象でした。この良い雰囲気のチームケアが在宅復帰を叶えるポイントになっています。

コロナ禍で面会が制限される中で、槇の里では洗濯物を家族が取りに来るので、その際にソーシャルディスタンスを保ちつつ、窓越しから手を振るなど可能な限り、家族と利用者を繋いでいます。さらにそこで、家族の意向を確認して、直接の面会ができない分、スタッフが家族に代わって、利用者に家族のサービスを行っています。家族にはなれませんが、利用者や家族を繋ぐパイプ役になりつつ、利用者の方が寂しくならないようにスタッフが明るく利用者に関わっています。取材時も夏祭りを行うなど、コロナ禍でも笑いあえる明るい雰囲気のいい印象的でした。

3 家族とのかけ橋となるサービス



課題・目標



スタッフ一人ひとりの個の力を伸ばす

スタッフ一人ひとりが個の力を伸ばすことで、それが自信になり、経験年数を問わず、誰もが意見を言える環境作りができるのだと思います。いろんな意見から利用者の生活が幸せになれるヒントが生まれます。取材当日の学生から「仕事する上での理念は?」と聞かれた際に、看護師長、主任さんと、「自分がやられて嫌なことはしない」という返答がありました。その理念は確実にスタッフに浸透していることが明るく楽しく利用者の方と関わっている姿から想像できました。成長しながら、やりがいのある職場で、学生も働きたい環境だったと話してくれました。